

福島第一原子力発電所の滞留水の水位・移送、処理の状況について（2月25日9時現在）

		1号機	2号機	3号機	4号機
滞留水の水位 (2月25日7時時点)	トレンチ立坑水位	水位低下に伴い、測定できず (O.P.+ 850 mm未満)	O.P.+ 3,037 mm (2月24日16時から48 mm下降)	O.P.+ 3,167 mm (2月24日16時から10 mm上昇)	
	タービン建屋水位	O.P.+ 3,173 mm (2月24日16時から11 mm上昇)	O.P.+ 3,006 mm (2月24日16時から44 mm下降)	O.P.+ 3,094 mm (2月24日16時から12 mm上昇)	O.P.+ 3,074 mm (2月24日16時から10 mm上昇)
	原子炉建屋水位	O.P.+ 4,274 mm (2月24日16時から50 mm下降)	O.P.+ 3,207 mm (2月24日16時から43 mm下降)	O.P.+ 3,415 mm (2月24日16時から13 mm上昇)	O.P.+ 3,090 mm (2月24日16時から10 mm上昇)
	集中廃棄物処理施設 における各建屋の水位	プロセス主建屋 高温焼却炉建屋 サイトバンカ建屋	O.P.+ 2,608 mm (初期値からの増加量3,825 mm, 2月24日16時から133 mm上昇) O.P.+ 2,130 mm (初期値からの増加量2,856 mm, 2月24日16時から382 mm下降) O.P.+ 4,369 mm (床面からの水位573 mm, 2月24日16時から13 mm上昇)		
滞留水の移送状況		1号機	2号機	3号機	4号機
			2号機タービン建屋地下 集中廃棄物処理施設（プロセス主建屋） 移送実施中 (2月23日14時04分～)		
		5・6号機			
水処理設備の運転状況		セシウム吸着装置 : 1月30日13時47分～ 運転中 第二セシウム吸着装置（サリー） : 2月24日10時32分～ 運転中 淡水化装置（逆浸透膜） : 水バランスをみて断続運転 淡水化装置（蒸発濃縮） : 水バランスをみて断続運転			
その他特記事項	本日（2月25日）午前8時30分頃、福島第一原子力発電所雑固体廃棄物減容処理建屋（高温焼却炉建屋）1階にある第二セシウム吸着装置（サリー）B系の配管溶接部より、水が漏れいしていることを当社社員と協力企業作業員が発見しました。水の漏れいを停止するために、午前10時44分に第二セシウム吸着装置（サリー）を停止し、漏れいした箇所の上流にある弁を閉めて、午前11時10分に漏れいが停止したことを確認しました。漏れた水の量は約10リットル（2 m × 5 m × 1 mm）で、同建屋の堰内にとどまっており、建屋外への流出はありません。				

水位についてはデータとして速やかに提供させていただく観点から、参考値としてお知らせさせていただいております。